

ボランティア・スピリット賞

コミュニティ賞(首都圏ブロック東京都)受賞の報告

ボランティア・スピリット賞とは

ボランティア活動に取り組む12歳から18歳の青少年を支援するプログラムです。賞を通してボランティア活動の情報交換ができる場を提供し、誰もが気軽に自然にボランティア活動に取り組める社会環境を創ることを目指しています。

号にはない企画を行ったり「大使館訪問」や「文化祭紹介」という前にはあった企画を復帰させました。また、現在制作中の10号では外国出身の編集員が10名以上も仲間に加わったので言葉の壁が少しありますが、それでもみんな理解しようと努力し和気あいあいとした関係が築けています。

活動の結果、地域に起こった変化や周りの反響

私の学校でも「めぐろう」が配布されるのですが、配布されるのとクラスのみんなが誌面を開いて見られることが一番の目に見る反響だと思います。私立なので東京都外に住む子や、都内に住んでいても目黒区の事をあまり知らない子たちにも目黒区の魅力を知ってもらえて、その情報が役に立っているとなお嬉しいですね。私やクラスにいる編集員が誌面に写っているページがあるとクラスメイトに少しからかわれますが、今ではそれもちゃんと見てくれると思います、少しうれしいなと思います。取材先にも配布をさせていただくのですが、その際「良い記事にしてくれてありがとうございます」と褒めていただけるので、それが次号へのやる気にも繋がります。

自分個人としての一番嬉しかった反響は今年の6月にあった新旧の顔合わせオリエンションのことです。自己紹介の際、10号から入った新編集員の中に数人「デザインをしてみたい」、「編集してみたい」といった声があったことが大きな変化だと思いました。めぐろうは「〇〇へ取材したい!」など、どちらかというと特定の物への興味がある子が多いので制作サイドへの興味がある子が増えたのが嬉しかったです。これで少しでも目黒区の魅力だけでなく、編集などにも興味のある子が増えたらいいなと思います。現在、10号を鋭意制作中ですが私

は受験生のためあまり制作に関わっていません。ですので、今度は読者としてもしっかりと反響を見てきたいです。

ボランティア活動を通じて学んだこと、感じたこと

一番は人の暖かさです。現代はあまり思いやりのない冷たい世の中だと揶揄されつつありますが、何か好きなことがある方はみんな温かい心を持っているのだと学びました。

例えば、取材先にてその職場で働いていらっしゃる方々には辛いことや苦しいこともあると思うのですがそれでも結局、自分のやっていることが好きだから取材を受けてくださっています。それ故に、皆さん暖かみをもって丁寧に答えてくださりました。わからないことは何でも聞ける、それだけでもすごく幸せな環境にいたのだと思います。そして、その環境も人の暖かさ故だと思います。特に「めぐろう散歩」では散歩中に見つけたお店にアポなしで取材させて頂きましたが、快く引き受けてくださり目黒区の温かみを一番強く感じました。

編集員たちもよくついてきてくれたなと思います。どの取材も、どの記事もそれぞれ思い入れがあつて、その思い入れにはきちんとめぐもりがあります。そのめぐもりが読者の皆さまに少しでも伝わればいいなと思います。「めぐろう」を通して出会ってきた方々のような温かい人間に、今、私はなれているのかどうかは分かりません。ですが、編集長を2年間も務められたのは自分でも誇りに感じています。この経験は絶対に生かしていきたいと思っています。このボランティア・スピリット賞には、「いつもありがとう」というフレーズがあるらしいのですが、む

しろこちらがそう言いたい程です。「いつもありがとう、これからもよろしくお願いします」

今後の目標や夢、アピール

私は「めぐろう」以外にももう一つ高校生新聞という団体にも所属しているのが高校生新聞の記者として昨年、全国表彰式を取材させて頂きました。その時はまさか自分がボランティアスピリット賞に応募するとは思っていませんでした。受賞者の方々が意志を持つて社会貢献してきた功績を見て、ただ「すごい人が集まっているな」と羨望の眼差しを注ぐことしか当時はできませんでした。しかし今年の5月頃、学校長にいきなり呼び出され「私は何か、やらねばならぬのか」と怯えながら行ったところ、この賞を薦めてくださり、初めて応募してみようと思いました。「めぐろう」はボランティアだと思って活動していた訳ではなく、本当に編集が好きだからやっていたに過ぎません。タウン誌作りを通して中高生だけでなく様々な方と会えました。「めぐろう」での2年間で私は確かに成長できたことを確信しています。好きなことを通じて経験を積めたことは本当に幸せなことだと思います。多くの取材をして、人の暖かさ、目黒区という地域の良さを存分に発見してきました。

将来は編集の仕事に進むつもりです。元々編集をやりたいので「めぐろう」に所属したというのもありまますし、私にはこれしかない今なら自信を持って言えます。そして、編集者として今度は私が「めぐろう」で編集の楽しさを目黒区の子供たちに教え、一緒に楽しくタウン誌作りができる子にならないます。目黒区にお越しの際はぜひ「めぐろう」をご利用ください。